

み の り

学校ホームページ <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp>

卒業証書授与式で179名の門出祝福！



3月1日(金)、同窓会長萬歳章様、加茂市長小池清彦様、PTA会長竹内克巳様をはじめ多くのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席のもと、第114回卒業証書授与式が盛大に挙行されました。

校長は、式辞で卒業生の3年間の努力を称えるとともに、「“農は国の基”、加茂農林高校で学んだことに誇りと自信を持ち、それぞれの場所で輝いてほしい」「平和で民主的な国家・社会の有為な形成者になってほしい」「自立型地域リーダーになるとともに、何より笑顔にあふれた幸せな人生を送ってほしい」とはなむけの言葉を送りました。

在校生代表の青海会会長窪田大地さんは、体育祭、青海祭、農業実習、課題研究発表における先輩の素晴らしさに触れた上で、「今まで受け継がれてきた伝統を守りながらより良い学校になるように今後努めていきたい」と送辞を述べました。

卒業生代表の前青海会会長高橋誉門さんは、農業実習、体育祭、青海祭等を振り返った上で、「一人では不可能なことでも周りの友人達と力を合わせれば可能になることを体感できた3年間は一生の思い出」「様々なことに挑戦してほしい」「創立以来の伝統と青海魂を引き継ぎ、新しい歴史を後世に残してほしい」と答辞に万感の思いを込めました。

最後に「農林邦家の基の道を…嗚呼われ希望の光をたどる」と校歌を歌い、吹奏楽部の演奏(GReeeeNの「キセキ」と大きな拍手に送られ、堂々と巣立っていきました。

あらためて卒業生179名の門出を祝福するとともに、新たなステージでの活躍と幸せをお祈りします。

「学校生活等に関する意識調査」まとまる！

2月に1・2年生を対象に実施した「学校生活等に関する意識調査」の結果がまとまりました。

高校生活に満足していますか？(1・2年)

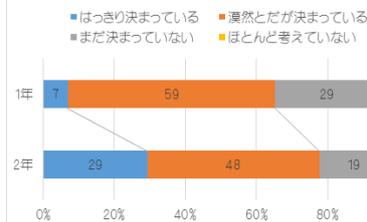


「1 高校生活に満足していますか」では、1・2年全体で70%の生徒が「満足」「概ね満足」と回答しました。

その理由の上位3つは、「親しい友人がたくさんいる」「学校やクラスの雰囲気がいよい」「授業がわかりやすく学習が充実している」でした。

一方、21%の生徒が、「やや不満」「不満」と回答。その理由の上位3つは、「授業が面白くなく学習が充実していない」「学校やクラスの雰囲気がよくない」「通学等が不便」でした。「通学等の不便」を感じる人の状況を変えるのは容易ではありませんが、「授業・学習」と「学校・クラスの雰囲気」は、教員の授業改善、生徒の学習姿勢、教員と生徒及び生徒相互の心配りで改善できるはず。お互いに、より多くの生徒が高校生活の満足度を高められるように、日々の言動に心を配りたいものです。

高校卒業後の進路希望は決まっていますか？



「9 高校卒業後の進路希望は決まっていますか」では、「はっきり決まっている」「漠然とだが決まっている」の合計が、1年66%、2年77%と学年とともに増加しています。

将来の「夢」を描き、具体的な「目標」を設定し、しっかりと「計画」を立て、地道に「実行」することが、進路実現の王道です。まずは視野を広めて進路学習を深め、進路の希望を決めてほしいものです。

アンケートが自分を知る機会になれば幸いです。

全国農業高校等HPコンテスト最終表彰校に選出！



慶應義塾大学(SFC研究所)主催の「第3回全国農業高校・農業大学校ホームページコンテスト」が行われ、本校が最終表彰校15校に選出されました。

このコンテストは、SFC研究所が全国の農業高校、農業大学校のすべてのHPを見比べ、特に優

秀と認められた15校を慶應義塾大学三田キャンパスに招待し、3月26日(火)に表彰式を行うものです。

本校からは、教員1名、生徒2名で出席させていただきます。大学の方々とともに、他校生徒とも交流し、農業や農業高校等を活性化するプラットフォーム(土台、基盤といった意味)の大切さを感じてきたいと考えています。

東京2020オリ・パラ教育実施校の認証を受ける！



2020年7月24日(金)の東京オリンピック開幕式まで500日を切りました。

本校も、「東京2020オリンピック・パラリンピック教育実施校、よい、ドン！スクール」に大会組織委員会から認証を受けました。

「スポーツと平和の祭典」であるオリンピック、「障がいのあるトップアスリートのスポーツの祭典」であるパラリンピック、東日本大震災からの「復興五輪」でもある東京オリ・パラです。みんなで、その意義に思いをいたし、楽しみながら学び、応援していきたいと考えています。

空手道部高木選手の全国選抜大会健闘を祈る！



3月25～27日に、和歌山県のビッグホール(←写真)で開催される全国高校空手道選抜大会に、高木知香選手(2-3)が、女子個人組手-53kgに北信越代表として出場します。初戦の相手は、兵庫県の選手。練習の成果を出し切り、悔いのない戦いをしてください。

教職員、全校生徒で応援しています！

SPH研究成果発表会開催、生徒の姿高く評価！



2月7日(木)、県教育委員会、外部有識者、多数の県内外学校関係者等の来場をいただき、文部科学省指定「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)事業」研究成果発表会が行われました。

進行は、五十嵐未夢さん、佐藤美咲さんの2人が担当。開会行事、SPH事業説明の後、3グループが課題研究の成果と苦労話を発表。その後、FSの3人が国際理解教育プレゼンテーションの発表を行いました。進行、発表ともそれぞれが持ち味を發揮した、素晴らしい出来映えでした。

最後に、県教育委員会高等学校教育課指導主事の石田清彦様から、「どの発表も地域との連携がキーワードになっていた」「研究指定校として行う研究レベルに見合う内容だった」「今後も協働的に課題解決に向けて意欲的に取り組んでほしい」とお褒めの言葉と助言をいただきました。

参観した先生方は、生徒の成長ぶりに目を細めていました。来年度はいよいよ最終年度。生徒の皆さんが専門的職業人として自立し、地域を支えるリーダーたる人材のスタートラインに立てるよう取り組んでいきたいと考えています。

当日参加した生徒の皆さん

◎司会進行

1-2五十嵐未夢さん、2-5佐藤美咲さん

◎発表1「炭素循環農法に関する研究」

生物工学科2年生命情報コース(堀恵翔さん、森山勇之介さん、重泉房江さん)

◎2「空撮と最新測量技術の習得を目指して

～ドローンを活用した取り組み～

環境緑地科3年環境土木コース(浅川達也さん、栗山大輝さん、坂井成樹さん、鶴巻諒大さん、早川温陽さん)

◎3「花で街を彩ろう (↑写真はこの発表時)

～草花がもたらす地域活性効果～

生産技術科2年草花コース(高木知香さん、鈴木ひとみさん、中丸結月さん、山崎陽奈さん)

◎4「農林高校版 SDGsスクールを目指して」

FS(2-1森山萌英さん、2-3川田萌音さん、2-4坂井留菜さん)

ご苦労様でした